

建学の精神

「意志あるところ道あり」

大分臨床検査技師専門学校は初代理事長平松克己により

昭和 41 年に衛生検査技師の育成をもって設置されました。

さらに昭和 46 年に大分市歯科衛生士学院（現 大分歯科専門学校）が設置されるなど、

時代が求める医療のニーズに応えるべく専門学校が増設置され、

平成 18 年に大分医学技術専門学校鍼灸師科の設置をもって

医療福祉系専門学校は現在の 7 校 10 学科へと発展してきました。

”意志あるところ道あり”、これが学校法人平松学園の精神です。

医療福祉系専門学校は、建学の精神を教育に体現するため、

’実学主義’を教育理念として掲げ、豊かな発想力と実践力を磨くことを

教育の根幹としています。

教育の精神

「誠実、丁寧、知力」

誠をもって人を敬い、心をもって事に接し、知力をもって実学を得る。

医療福祉系専門学校は、教育理念である”実学主義”を体現するため、

教育の精神を校是として掲げ、学生と教員がともに進む教育を目指します。